

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 経営支援課	下冨 賢剛
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	④ 高齢化社会に対応するヘルスケア関連産業の振興	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	122,399

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
超高齢社会や健康意識の高まりを背景に、今後の成長が見込まれるヘルスケア産業において、異業種連携によるサービスの複合化や地域資源の活用等により、健康寿命延伸につながる付加価値の高いヘルスケアサービスの創出を促進し、成功事例を広く普及させることで、本県のヘルスケア産業の底上げを図ります。		i)ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	支援事業者のうち、前年比で売上がアップした事業者の割合	目標値①	/	100%	100%	100%	100%	100%		100% (R7)
		実績値②	—	20%	42%	/	/	/		進捗状況
		達成率②/①	/	20%	42%	/	/	/	遅れ	
<p>令和3年度に終了したヘルスケア産業創出促進事業において支援を行った7グループの内、3グループの売上が増加し、新サービス創出に繋がった。新サービスとして提供するには、磨き上げや追加検討が必要なものもあるため、進捗状況は遅れた状況にある。</p> <p>令和4年度においては、業種や分野は限定せず、ヘルスケア産業を含め、「県外需要獲得」、「生産性向上」等に取り組む事業者のうち、高い意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者に対して、事業計画策定から実践までの伴走支援を行い、成功モデルの創出に取り組んだ。</p> <p>令和4年度に支援を行った事業者については、令和4年度と令和5年度の売上の比較を行うため、事業群としての指標の実績値の把握時期は令和6年度となるものの、将来的な効果の発現を見込む。</p>										

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和4年度事業の実施状況 (令和5年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標							
事業実施の根拠法令等				法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象					
事業期間												
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	サービス産業経営体質強化事業費	113,078	0	7,790	県内サービス産業事業者等がDXにより生産性向上に取り組むことで「稼ぐ力」を強化し、その成果を従業員の処遇改善につなげるための大胆な組織・経営に係る変革を支援した。 また、高成長への意欲と潜在力を持ち、地域経済への波及効果が期待できるサービス産業事業者を長崎県ネクストリーディング企業として認定し、DXによる県外需要獲得・生産性向上等を旨とする取組をハンズオン(伴走)で支援した。	【活動指標】 R3:計画を策定した事業者数	10	16	160%	●事業の成果 ・県内のサービス産業事業者のDXによる生産性向上等に係る計画策定及び実践を支援した。伴走支援を14者に、補助金による支援を9者に対して行い、生産性向上を図ることができた。 ・長崎県ネクストリーディング企業を32者認定し、そのうち11者に対し、当該事業者の成長に向けた事業計画策定・実践支援に向けたハンズオン支援を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・伴走支援により、県内中小企業者の生産性向上に寄与した。
				122,399	20,631	15,306		R4～:ハンズオン支援(※)する事業者の数(累計) ※伴走支援	15	11	73%	
				49,324	26,327	11,574			20			
			R3-5	—				【成果指標】 R4:計画を実践した事業者数(累計)	10	16	160%	
経営支援課	—			—	—	—	R5:ハンズオン支援開始5年後における支援先の付加価値増加率平均(%)	—				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	ヘルスケア関連分野の新たなサービスの事業化の支援
●実績の検証及び解決すべき課題	●課題解決に向けた方向性
支援を行ったヘルスケア関連産業事業者においては、売上が前年度と比較すると増加した者もいるものの、さらに、商品・サービスの改善や消費者に認知度向上に向けた支援を行っていく必要がある。	ヘルスケア関連産業の新サービスの事業化にあたっては、新サービスを開発した後の周知活動が重要であるため、各種表彰制度やビッチコンテストへの参加を促し、消費者からの認知度を高めることで、早期の事業化を促していく。

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和5年度事業の実施にあたり見直し内容		令和6年度事業の実施に向けた方向性		
				事業期間	※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
				所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	サービス産業経営体質強化事業費		長崎県ネクストリーディング企業に対する支援について、外部支援機関と連携しながら当該機関の支援制度の活用を検討し、支援の充実を図っている。	③	令和5年度まで、支援事業者の経営改善やデジタル化による効率化、協業先とのマッチングなど、幅広い分野にわたる支援をきめ細やかに行うため、長崎県産業振興財団に加え、外部コンサルタントを活用しながら事業を行ってきたが、令和6年度においては、これまでに外部コンサルタントから得られ、蓄積された支援ノウハウを活用することで、長崎県産業振興財団を中心とした効率的な支援体制に移行する。	改善
		R3-5						
		経営支援課						

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点